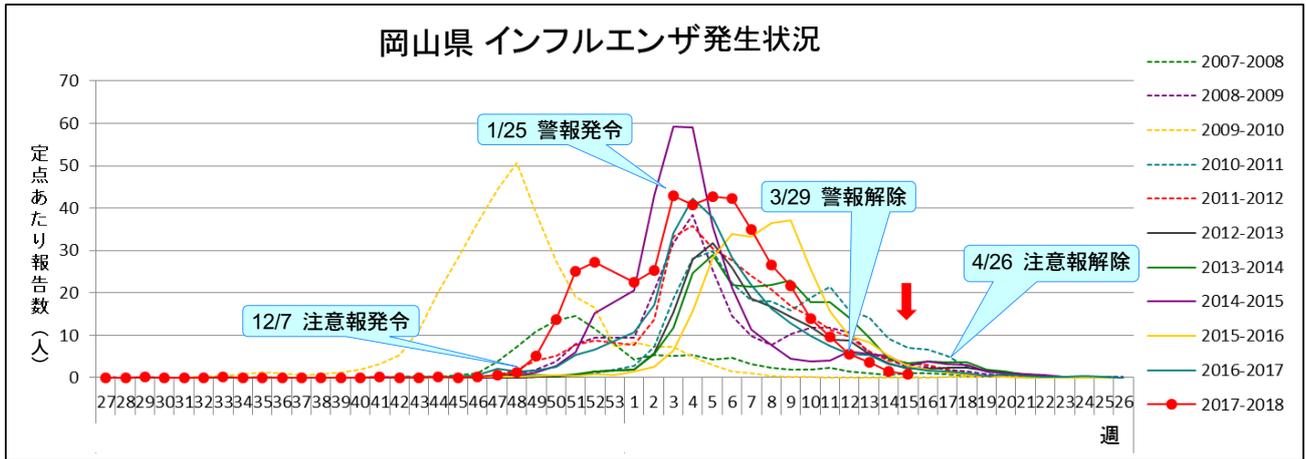


インフルエンザ週報 2018年 第15週 (4月9日～4月15日)

**岡山県は『インフルエンザ注意報』を解除しました。(4月26日)**

➤ 岡山県の流行状況

- インフルエンザは、県全体で67名(定点あたり0.80人)の報告がありました。(84 定点医療機関報告)
- インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。
- インフルエンザによる入院患者3名の報告がありました。



※ インフルエンザは、通常、秋から翌年の春にかけて流行するため、第27週～翌年第26週で、グラフを作成しています。

インフルエンザは、県全体で67名(定点あたり1.56 → 0.80人)の報告があり、前週より減少しました。

岡山県では、県全体の定点あたり報告数が第15週(0.80人)、第16週(0.79人)と2週連続して1人を下回ったため、2017年12月7日に発令された「インフルエンザ注意報」を、4月26日をもって解除しました。

注意報は解除になりましたが、ひきつづき手洗いなど感染予防を心がけましょう。

[インフルエンザ Q&A \(厚生労働省\)](#)

1. 地域別発生状況

前週からの推移(単位:人)

地域名	発生状況		推移	地域名	発生状況		推移
岡山県全体	患者数	67	↘	備 中	患者数	26	↗
	定点あたり	0.80			定点あたり	2.17	
岡山市	患者数	7	↘	備 北	患者数	4	↘
	定点あたり	0.32			定点あたり	0.67	
倉敷市	患者数	6	↘	真 庭	患者数	0	↘
	定点あたり	0.38			定点あたり	0.00	
備 前	患者数	8	↘	美 作	患者数	16	↘
	定点あたり	0.53			定点あたり	1.60	

【記号の説明】 前週からの推移    ↑ : 大幅な増加    ↗ : 増加    ➡ : ほぼ増減なし    ↓ : 大幅な減少    ↘ : 減少  
 大幅 : 前週比100%以上の増減    増加・減少 : 前週比10~100%未満の増減

## インフルエンザ感染症マップ

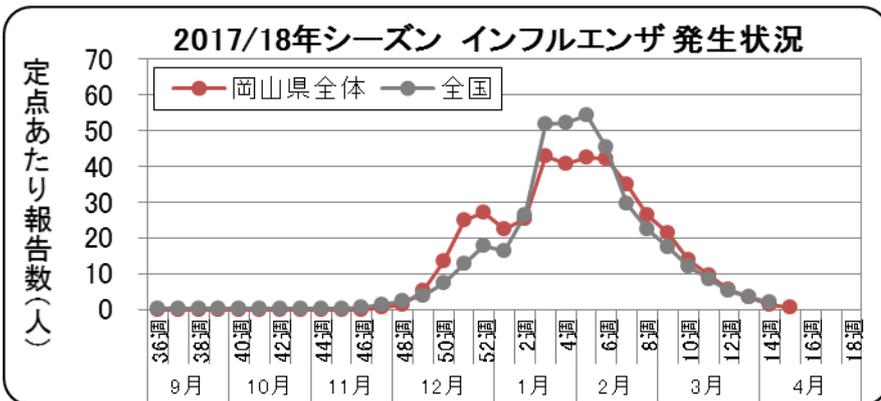
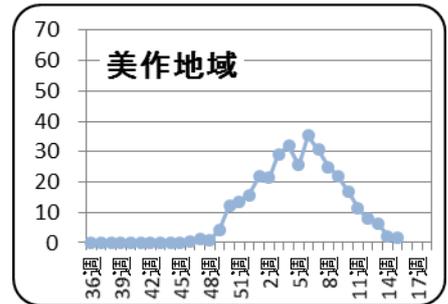
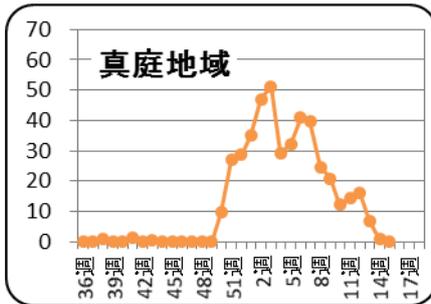
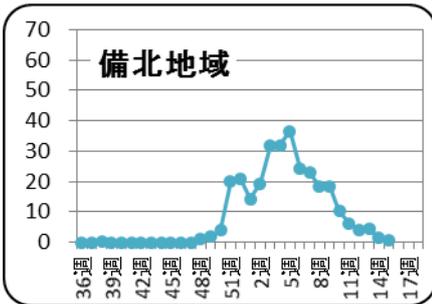
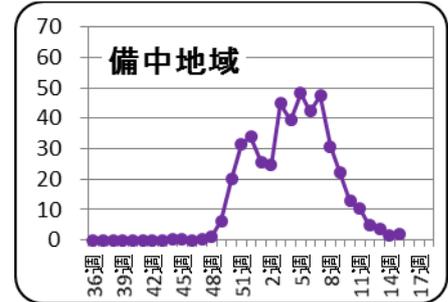
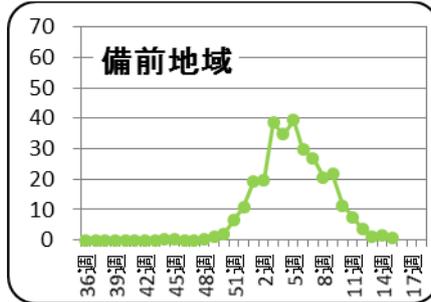
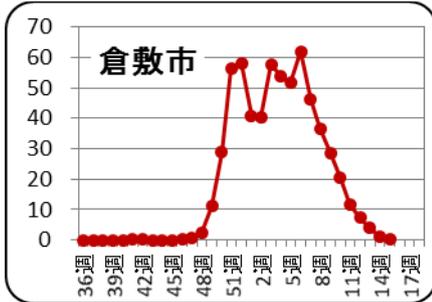
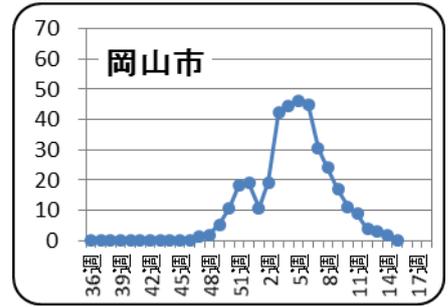


### <インフルエンザ発生レベル 基準>

レベル3		レベル2
開始基準値	終息基準値	基準値
30	10	10以上 30未満

レベル1	報告なし
基準値	基準値
0< 10未満	0

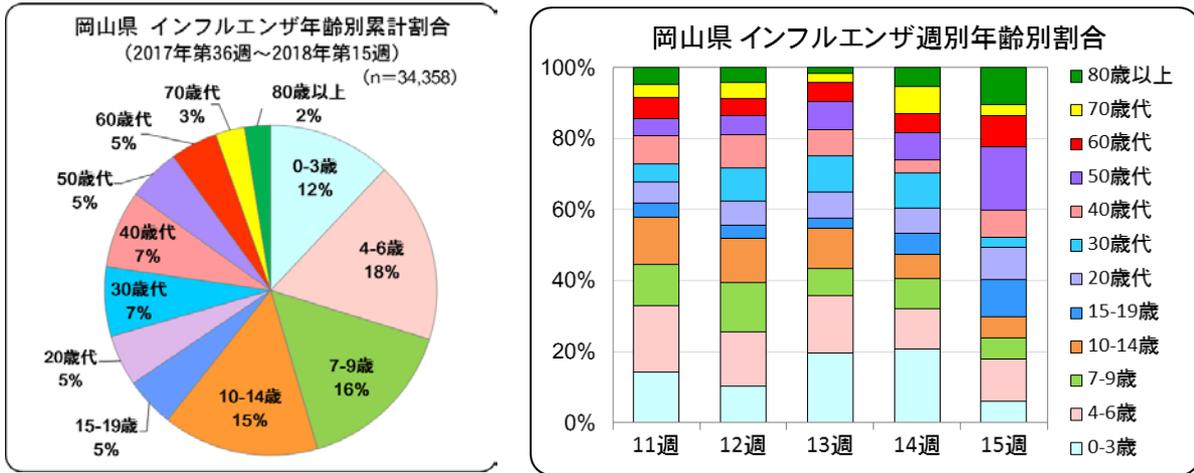


全国集計第14週(4/2~4/8)速報値によると、全国の定点あたり報告数は2.00人となり、前週(3.39人)より減少しました。都道府県別では、新潟県(8.03人)、山形県(7.10人)、岩手県(6.62人)、の順で定点あたり報告数が多くなっていますが、全47都道府県で前週の報告数よりも減少しました。

[インフルエンザの発生状況について](#)  
(厚生労働省)

## 2. 年齢別発生状況

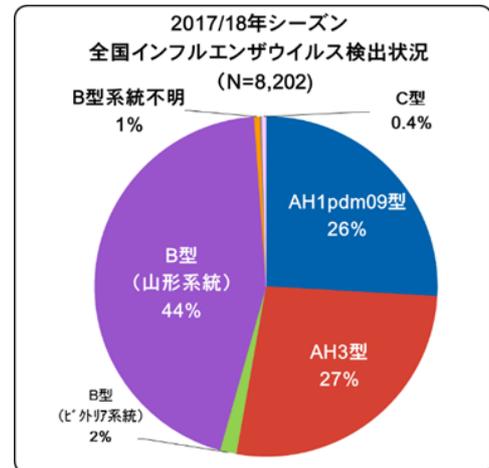
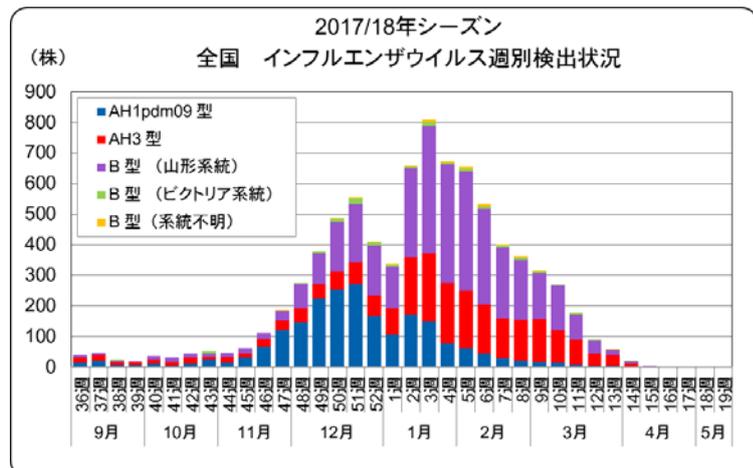
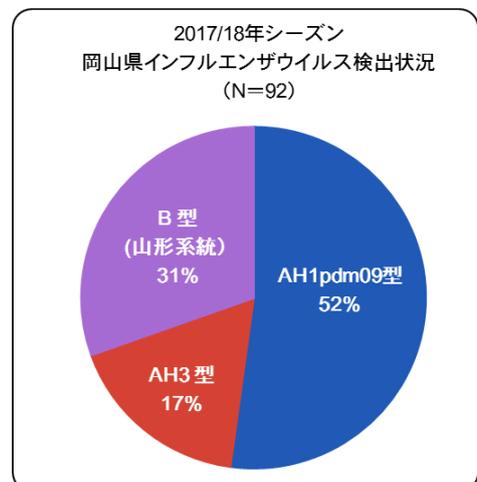
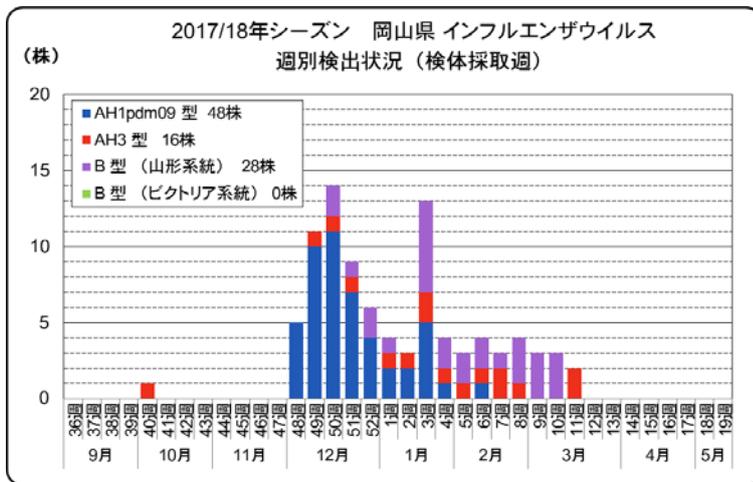
今シーズンの年齢別累計割合は、4-6歳 18%、7-9歳 16%、10-14歳 15%の順で高くなっています。



## 3. インフルエンザウイルス検出状況

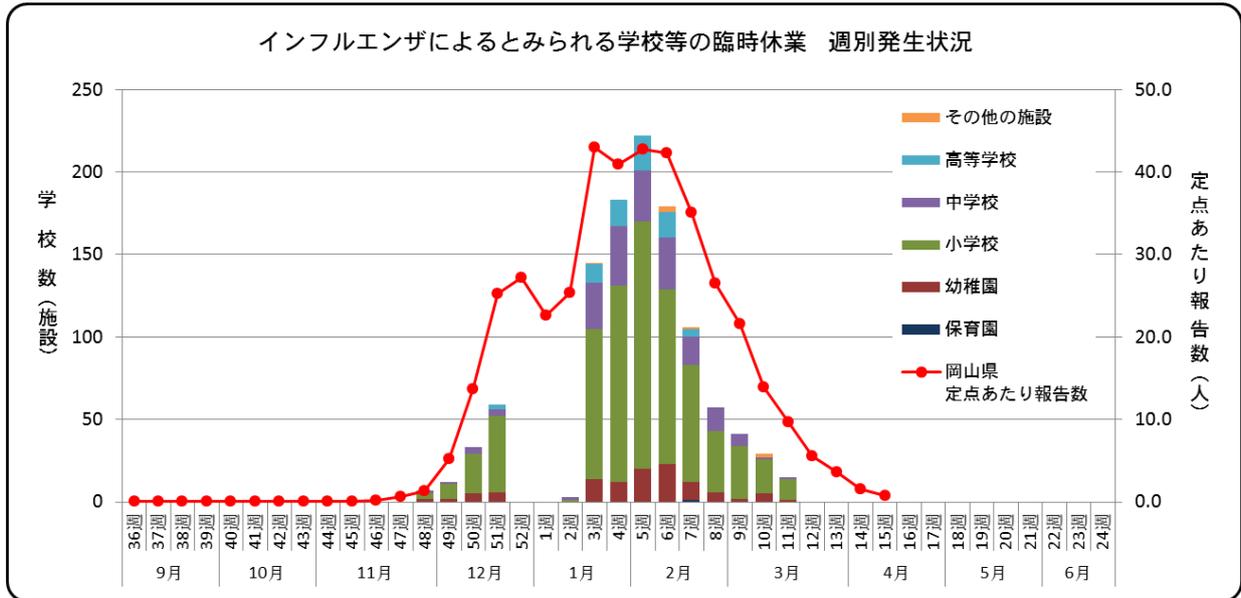
第15週、環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは、ありませんでした。今シーズン、これまでに環境保健センターで検出されたインフルエンザウイルスは92株で、その内訳は、AH1pdm09型 48株(52%)、AH3型 16株(17%)、B型(山形系統) 28株(31%)となっています。

今シーズン、全国で検出されたインフルエンザウイルスは、AH1pdm09型 26%、AH3型 27%、B型 47%〔山形系統 44%・ビクトリア系統 2%・系統不明 1%〕となっています。今シーズン初めから多数検出されていたAH1pdm09型は、第52週(12/25～12/31)以降減少傾向となり、代わってAH3型とB型(山形系統)の検出が増加しています。(4月23日現在)



#### 4. インフルエンザ様疾患による学校等の臨時休業施設数

インフルエンザによるとみられる学校等の臨時休業は、ありませんでした。



##### 1) 有症者数・欠席者数および臨時休業措置の内訳

\* 地域名は、保健所管轄地域を表しています。

地域名*	有症者数		うち欠席者数		施設数合計		休園・休校数		学年閉鎖施設数		学級閉鎖施設数		初発年月日
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	
岡山県全体	0	15522	0	12396	0	1091	0	20	0	251	0	820	H29.11.27
岡山市	0	6058	0	4677	0	394	0	2	0	41	0	351	H29.11.27
倉敷市	0	3463	0	2856	0	231	0	2	0	24	0	205	H29.11.27
備前地域	0	1569	0	1360	0	138	0	3	0	57	0	78	H29.12.13
備中地域	0	2254	0	1844	0	173	0	2	0	46	0	125	H29.12.5
備北地域	0	357	0	276	0	30	—	—	0	14	0	16	H29.12.4
真庭地域	0	280	0	237	0	25	0	3	0	16	0	6	H29.12.18
美作地域	0	1541	0	1146	0	100	0	8	0	53	0	39	H29.12.4

##### 2) 臨時休業施設数の内訳

第15週：0施設

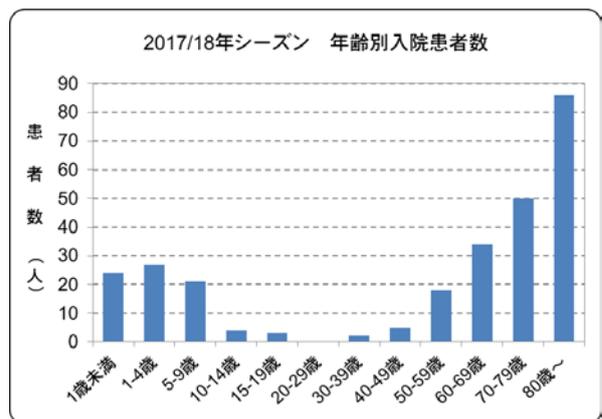
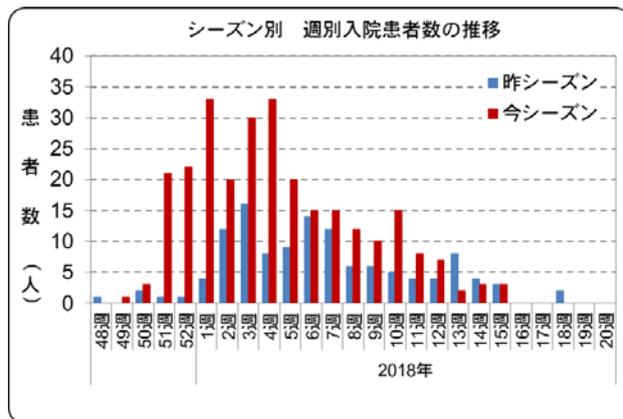
累計：1091施設

施設数	保育所		幼稚園		小学校		中学校		高等学校		その他	
	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計	今週	累計
施設数	0	1	0	109	0	723	0	179	0	72	0	7

## 5. インフルエンザによる入院患者報告数（県内基幹定点 5 医療機関による報告）

インフルエンザによる入院患者は、3名（70～79歳 1名、80歳以上 2名）の報告がありました。今シーズンの入院患者は、昨シーズンよりも多い状況です。

幼児や高齢者、慢性疾患・代謝疾患をもつ人、免疫機能が低下している人などでは重症化することがありますので、注意が必要です。幼児ではまれに脳炎を起こすことがあります。水分をとった後すぐ吐いてしまう、元気がない、意識がはっきりせずうとうとしている、けいれんを起こす、このような症状がみられるときは、すぐに医療機関を受診しましょう。



【第 15 週 入院患者報告数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数										1	1	1	3
ICU入室*													
人工呼吸器の利用*													
頭部CT検査(予定含)*											1	1	2
頭部MRI検査(予定含)*												1	1
脳波検査(予定含)*													
いずれにも該当せず										1			1

\* 重複あり

【2017年9月4日以降に入院した患者の累計数】

年齢	1歳未満	1～4歳	5～9歳	10～14歳	15～19歳	20～29歳	30～39歳	40～49歳	50～59歳	60～69歳	70～79歳	80歳以上	計*
入院患者数	24	27	21	4	3		2	5	18	34	50	86	274
ICU入室*		1							1	3	9	4	18
人工呼吸器の利用*												1	1
頭部CT検査(予定含)*	1	3	3	2			1			5	6	19	40
頭部MRI検査(予定含)*	1	5	5	1			1			2	1	5	21
脳波検査(予定含)*		6	2										8
いずれにも該当せず	22	17	13	2	3		1	5	17	27	35	65	207

\* 重複あり